

アイルランド産畜産貿易に関する一考察

蔵谷哲也

キーワード：家畜法、アイルランド産家畜、アイルランド、イングランド、

要約：

本稿では17世紀におけるアイルランドとイングランド間の貿易は主にイングランドのより大きな政治力を持つ利益団体のために管理されてきたことを中心として、入手可能な文献に基づきその他の関連事項を叙述している。

興味深い点：

- 1) 17世紀においては、cattle は場合によっては四つ足の家畜を意味すると理解され、ウシ亜科の動物に加えて、羊と馬が含まれることがあった。
- 2) 歴史的にアイルランドは牧畜に適した地域であったことが考古学者達によって推定された。また、人間の実際の観察によってもその環境の適切性が正当化されている。
- 3) 主要な土地が外国の地主によって所有され、彼らはアイルランド人を大量にそうした土地で雇用することを恐れていたため、家畜の飼育が結果的にもたらされたという。
- 4) 歴史家達によると、アイルランド・イングランドの経済関係の特徴は、17世紀中頃以降の後者の前者に対する嫉妬とされる。
- 5) 1621年前後のイングランドの深刻な経済危機の原因の一つにアイルランド産家畜輸入が挙げられた。
- 6) アイルランドはイングランドの競争相手ではなく、助け手になるようにイングランドによって規制されてきた。